

IT日和

イラスト 山本コウカ

vol.47 税理士せんあきれ顔



PC買うにもデバイス買うにも、経費だ予算だと世知辛いのじゃ〜!

App Store アプリのお知らせ

アプリをダウンロードすると iPad, iPhone, iPod touch といった iOS 端末から読むことができます!



ダウンロード無料
情報処理学会

アプリのダウンロードはこちら (無料)



情報処理学会 会員募集中!!

ITに関する最新情報や研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます



研究会がたくさん♪

自分に合った分野が見つかりそう!

詳しくは <https://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

お問合せ

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

2019 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会
デジタルプラクティス編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 「情報処理」巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。
◇記事に対する評価 ◇記事に対する感想 ◇意見 ◇記事テーマの提案 ◇そのほか全般的な意見・提案など
注) 記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)。*最長 3 年までとします。

対 象 号 会誌「情報処理」60 巻 5 号～61 巻 4 号、および年に 4 回 Web ページ (<https://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/> (PDF 版)) (<https://www.ipsj.or.jp/dp/contents/publication/index.html> (HTML 版)) にて公開される「デジタルプラクティス」(電子版のみ)。

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 **2019 年 2 月 28 日 (木) 必着**

*申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

* Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2019monitor.html>) でも受け付けています。

そ の 他 ジュニア会員で、会誌(冊子体)の送付を希望される方には、モニタ期間中会誌を送付いたします。

(先着 50 名、アンケート (12 回) に必ず回答いただくことを条件とします)

希望する場合は、申込書の要望欄に<会誌送付希望>とお書きください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

2019 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先: 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係) E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (小・中・高校・高専・大学・大学院など)
(e) 学生 (f) 学生 (ジュニア会員) (g) その他

職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教職員 (小・中・高校・高専・大学・大学院など) (h) 学生 (i) 学生 (ジュニア会員) (j) その他

要望, コメントなど:

CONTENTS

Preface

- 202 **Stress Check Act And New Mental Health Measures In Japan**
Kenji TAKEGAMI (Japan Stress Check Association)

Special Features

Smart Fisheries Industry

- 204 **0. Foreword**
Masaaki WADA (Future Univ. Hakodate)
- 206 **1. Present Issue and Expectation of ICT in Fishery of Japan**
Minoru SANO (Wakkanai Fisheries Research Institute, Hokkaido Research Organization)
- 210 **2. Beyond Fisheries ICT to Fisheries Cloud Computing Services**
Katsumori HATANAKA and Ramadhona SAVILLE (Tokyo Univ. of Agriculture)
- 214 **3. Co-creation with Partners in the Fishery Field**
Shigeya YASUI (Future Univ. Hakodate)
- 218 **4. Co-Creation with Indonesian Fishermen - Design for Fishery System -**
Makoto OKAMOTO (Future Univ. Hakodate)
- 222 **5. Expectations for Public Data Platform for Sustainable Fisheries**
Masaaki WADA (Future Univ. Hakodate)
- 226 **6. Promoting Work Style Reforms in Set-Net Fishery with AI System for Discriminating Fish Species**
Keiji SUZUKI (Future Univ. Hakodate)
- 230 **7. Efforts of the Red Tide Monitoring using Sensors off Kasado Island in the Seto Inland Sea**
Akihito WANISHI (Yamaguchi Prefectural Fisheries Research Center)
- 234 **8. Image Processing Technology for Fishery Support and Its Application**
Masashi TODA (Kumamoto Univ.) and Koichiro ENOMOTO (The Univ. of Shiga Prefecture)
- 238 **9. Advancements in Coastal Engineering : Big Data Challenges with Fisheries**
Takumi OKABE (Toyohashi Univ. of Technology)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 242 **To IT Experts and Researchers of Future**
Yuji OIE (Kyushu Institute of Technology)

"Peta-gogy" for Future

- 243 **"Knowledge", "Wisdom" & "Competency" - Three Ability to Lead to Success -**
Shinya KOBAYASHI (Ehime Univ.)
- 244 **Design Policy and Practice of College 1st-Grade Introductory Programming Class (Part 1)**
Yasushi KUNO (The Univ. of Electro-Communications)
- 248 **Developments and Challenges of Programming Education as General Education in Elementary and Junior High Schools**
Shuji KUREBAYASHI (Shizuoka Univ.)

Reports

- 264 **Why Do Elementary and Junior High School Students Read IPSJ Magazine?**
Yuji HATADA (The Univ. of Tokyo)

Let's Learn Informatics

- 270 **Example of Gradual Programming Guidance using Scratch**
Yoshitaka TANIKAWA (Chiba Prefectural Yachiyo Higashi High School)

-
- 254 **IPSJ Activity Report**
- 268 **Biblio Talk**
- 275 **Gathering to Share Original Programming Projects for Junior**
- 276 **Skimming a Famous Paper in Five Minutes**
- 280 **Questions for Experts**
- 282 **Conference Report**
- 286 **Regular Column**

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 160 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371



今月の会員の広場では、12月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、シニアコラム「IT好き放題：やわらかいハードウェアによるイノベーション」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今後もIT好き放題で、「やわらかいハードウェアによるイノベーション」みたいな記事を出してほしい。
(真間龍哉/ジュニア会員)

特集「デジタルエコノミー時代のサイバーセキュリティ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■今回の特集は、非常に重要だが一般的にあまり知られていない内容をまとめたもので、とても意義があると思う。ただ内容が多岐に渡ることもあり、少々難解であった。評価は、個々の記事ではなく、特集全体としての評価だと理解していただきたい。最も良いと判定した「4. IoT機器の普及とサイバーセキュリティ政策」はIoT機器のセキュリティだが、これは「1. デジタル化とデータ活用により進化する社会インフラセキュリティ」の実例にも表れているように、本当に何の対策も打たれていないことが多く、きわめて重要で緊急な問題だと考える。(田中 宏)

■今回の特集では、さまざまな観点からサイバーセキュリティの重要性を述べていて、これからの超スマート社会に向けて取り組みを加速していかなければならないことがよく理解できた。
(澤 佳祐/ジュニア会員)

■サイバーセキュリティといっても理論から実践までさまざまな分野があるので、それらを整理した記事があるとよいと感じた。
(匿名希望)

「1. デジタル化とデータ活用により進化する社会インフラセキュリティ」

■実際に被害を受けた事例(教訓)から、具体的な対策へと、非常に理解しやすい構成だった。
(牛島和夫)

「6. AIをセキュリティリスクから守るために」

■ネットワークのセキュリティは非常に重要な課題であり、1カ所の脆弱性が全世界のコンピュータに影響を及ぼす。特に「6. AIをセキュリティリスクから守るために」はネットワークで接続された多くのデータベースの安全性の上に成り立ち、AI・ロボット等の安全性に影響する。今後の技術の高度化により、人間社会が安心して暮らせるようになることを期待したい。(諸岡泰男)

「7. サイバーセキュリティ経済学」

■経済学がサイバーセキュリティに寄与できることにとっても驚きました。経済学を専攻しているので、どのように情報科学に経済学的な貢献ができるのか今後調べていきたいです。
(匿名希望/ジュニア会員)

■今号の特集の中の「サイバーセキュリティ経済学」は参考になる内容で、興味深く拝読しました。
(梅川通久)

連載「先生、質問です!」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■研究室の中だけではどうしてもアイデアや考えが煮詰まることも多く、さまざまなコミュニティでの議論も大切にしながら、研究をしていきたいと感じました。
(高橋健大)

報告「第30回国際情報オリンピック日本大会開催報告」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■国際情報オリンピックのような行事は、テレビなどの一般メディアを通じて報道があってもよいのと思いました。
(匿名希望)

■IOIは中高生の中でも特に情報に関して優れた能力を持っている生徒たちの集まりであり、集まりにより得たことを広く知ってもらうことは情報教育の観点から考えても非常に良いことだと思う。ただ、そもそも競技プログラミングとは何なのか、その教育を実際の現場ではどのように行っているのかなどまで掘り下げられれば、より多くの人にとって参考になったと思う。
(匿名希望/ジュニア会員)

教育コーナー「べた語義：高校生の皆さんへ、研究を通して自分の可能性を広げよう!」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■私はもう高校生は終わってしまったが、もしそのころから「研究」というものにかかわっていたら……と考えさせられた。
(匿名希望/ジュニア会員)

連載「5分で分かる!? 有名論文ナナム読み: Lydia E. Kavradi et al.: Probabilistic Roadmaps for Path Planning in High-dimensional Configuration Spaces」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■有名論文ナナム読みは、各分野における定番の論文を、短くレビューしていただけるので、効率良く自分の知らない知識に触れることができ、大変役立っております。
(森 浩二)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■本号はimpressするものがなかった。
(上谷達也)

■ AI のセキュリティと有名論文ナメ読みの経路計画は参考になると感じました。哲学とデータの見えざる手は、見た目よりも本質の追求という視点に読み応えを感じました。(坂野晃弘)

■ 国家安全保障におけるサイバーセキュリティ対策の現状について知りたいです。(梅田直希/ジュニア会員)

■ ポストゲノム時代に向けた、生物学との融合分野の研究の最先端について取り上げていただきたいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■ IoT 関連の特集に興味があります。(匿名希望)

■ 月号難易度に大きな差があるので、できれば均一化してほしいです。(匿名希望/ジュニア会員)

■ この冊子を読み始めて半年が経ちますが、最先端に触れる良い機会だと思って読んでおります。(山口隼平/ジュニア会員)

■ 問題提起だけ(課題を整理しただけ)の記事は面白くない。せめて、そうした課題に対して、どうアプローチの解決法が検討されている、とか、どう体制で対策しようとしている、といった、将来に向けた動きの一端だけでも紹介していただきたい。そうすれば、さらにその課題を追う手掛かりになる。(伊藤雅樹)

■ 職業柄、教育関係(特に高等学校)の記事はありがたい。(井手広康)

■ IOI や高校生の研究をテーマとした記事があり、同年代として刺激を受けました。(井上勢大/ジュニア会員)

■ 競技プログラミングに関するテーマは面白い。(冨井陸矢/ジュニア会員)

■ 民間企業に所属する人間として、特定の分野のみにとらわれることが多いため、近年の産学連携における取り組みや研究をもっと知りたいと考えています。自分が携わる機会のない分野の話など、本誌を通して知ることが多いため、そういった機会が増えると嬉しいと考えています。(野口晃司)

■ 今号は具体的な事例を含んだ記事が多く分かりやすかったと思います。(三木清一)

■ 特集は、月号、タイムリーでいい話題を体系的に知れるのでとても役に立っています。今後も旬な話題を体系的に載せてください。(匿名希望)

■ 最近仮想通貨や AI のニュースが話題になる中、そういった情報がほぼリアルタイムに入ってきて、面白いと思いました。(中込 椋/ジュニア会員)

■ 特別解説のような時事的なものを今後も取り上げてほしいです。(山田俊輔/ジュニア会員)

■ 地域の各種講演会やイベントなどで、高齢者の皆さんにお孫さんへご紹介くださいとジュニア会員制度の紹介をさせていただきました。ジュニア会員の皆さんが増えて活性化していくと刺激になりそうです。(匿名希望)

【本欄担当 山本祐輔, 大見嘉弘/会員サービス分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」< URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html> > にも掲載しています。Web 版では、紙面の制限などのため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらをご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もより良い会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <https://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html> > で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。 <URL : <https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html> >

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail : editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ユーザブルセキュリティ」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/19-Y.html	2月25日(月)		
	2019年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」 モニタ募集 https://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2019monitor.html	2月28日(木)		
	論文誌「活き活きとしたスマートシティを実現する高度交通 システムとパーベイスシステム」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-D.html	3月29日(金)		
	論文誌「オープンイノベーションを加速するコラボレーション 技術とネットワークサービス」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-E.html	4月1日(月)		
	論文誌「人文科学とコンピュータ」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-C.html	5月7日(火)		
	論文誌「ますます広がる音楽情報処理」特集への論文募集 https://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/20-F.html	6月28日(金)		
2月16日(土)	Exciting Coding! Junior 2019@Sapporo https://www.ipsj.or.jp/event/s-seminar/2018/ExcitingCoding2019_Sapporo/index.html		1月25日(金) 定員になり次第	北海道大学 情報基盤 センター南館2階実習室
2月16日(土)	第119回人文科学とコンピュータ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ch119.html	1月10日(木)	当日のみ	大阪大学 豊中キャンパス
2月16日(土)～ 2月17日(日)	第148回コンピュータと教育研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce148.html	1月7日(月)	当日のみ	日本大学 文理学部
2月22日(金)～ 2月23日(土)	第122回音楽情報科学・ 第51回エンタテインメントコンピューティング合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mus122ec51.html	1月10日(木)	当日のみ	関西学院大学 理工学部
2月26日(火)～ 2月27日(水)	第193回知能システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics193.html	1月21日(月)	当日のみ	別府国際コンベンション センター
2月27日(水)～ 2月28日(木)	第126回音声言語情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/slp126.html	1月16日(水)	当日のみ	ホテル磯部ガーデン (磯部温泉)
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第122回数理モデル化と問題解決研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps122.html	1月7日(月)	当日のみ	湯布院公民館
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第145回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os145.html	1月16日(水)	当日のみ	函館コミュニティプラザ
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第104回オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm104.html	1月18日(金)	当日のみ	沖縄セルラー電話 株式会社
2月28日(木)～ 3月1日(金)	第76回高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its76.html	1月18日(金)	当日のみ	金沢工業大学 白山麓キャンパス
3月2日(土)～ 3月3日(日)	第149回コンピュータと教育研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ce149.html	1月16日(水)	当日のみ	京都情報大学院大学
3月4日(月)～ 3月5日(火)	第90回モバイルコンピューティングとパーベイスシステム・ 第61回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mb190ubi61.html	1月15日(火)	当日のみ	東京大学 駒場IIキャンパス
3月4日(月)～ 3月5日(火)	第178回 マルチメディア通信と分散処理・ 第84回コンピュータセキュリティ合同研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps178csec84.html	1月23日(水)	当日のみ	名古屋大学 東山キャンパス
3月5日(火)	第172回アルゴリズム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/al172.html	1月20日(日)	当日のみ	山形大学工学部 100周年記念会館 セミナールーム
3月5日(火)～ 3月7日(木)	第168回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc168.html	1月8日(火)	当日のみ	山代温泉瑠璃光
3月6日(水)～ 3月8日(金)	インタラクション2019 https://www.interaction-ipsj.org/2019/		当日可	学術総合センター
3月7日(木)	第147回情報システムと社会環境研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is147.html	1月14日(月)	当日のみ	専修大学 神田キャンパス
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第44回インターネットと運用技術研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/iot44.html	1月9日(水)		ホテルグランドエクシブ 鳴門&ザ・ロッジ
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第216回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim216.html	1月15日(火)	当日のみ	東邦大学
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第32回セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/spt32.html	1月18日(金)	当日のみ	NICT 沖縄電磁波技術センター
3月7日(木)～ 3月8日(金)	第201回ソフトウェア工学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se201.html	1月21日(月)	当日のみ	化学会館

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月7日(木)～ 3月10日(日)	第194回知能システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics194.html	1月18日(金)	当日のみ	ルストリゾートホテル
3月8日(金)	第41回ゲーム情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi41.html	1月16日(水)	当日のみ	電気通信大学 UECアライアンスセンター 100周年記念ホール
3月8日(金)～ 3月9日(土)	第57回バイオ情報学研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/bio57.html	1月24日(水)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院大学
3月8日(金)～ 3月10日(日)	第9回アクセシビリティ研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/aac9.html	1月16日(水)	当日のみ	筑波技術大学 春日キャンパス
3月14日(木)～ 3月16日(土)	情報処理学会 第81回全国大会 https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/81/		2月8日 当日可	福岡大学 七隈キャンパス
3月17日(日)～ 3月18日(月)	第227回システム・アーキテクチャ・ 第187回システムとLSIの設計技術・ 第50回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2019) https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc227sldm187emb50.html	1月14日(月)	当日のみ	西之表市民会館
3月18日(月)～ 3月19日(火)	第123回プログラミング研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro123.html	1月18日(金)	当日のみ	東京大学 駒場Iキャンパス
3月18日(月)～ 3月19日(火)	第182回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/events/sig/182	1月21日(月)	当日のみ	明治大学中野キャンパス
3月18日(月)～ 3月19日(火)	第107回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn107.html	1月31日(木)	当日のみ	駒澤大学 駒沢キャンパス
3月20日(水)～ 3月22日(金)	第27回教育学習支援情報システム研究発表会 https://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cle27.html	1月29日(火)	当日のみ	京都大学 学術情報メディアセンター
3月23日(土)	第11回 情報システム教育コンテスト (ISECON2018) http://miyagawa.si.aoyama.ac.jp/wiki/isecon_2018			専修大学 神田キャンパス
5月27日(月)～ 5月29日(水)	The 3rd cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG 2019) http://xsig.hpcc.jp/2019/	2月15日(金)		慶應義塾大学 日吉キャンパス
7月3日(水)～ 7月5日(金)	マルチメディア、分散、協調とモバイル(DICOMO2019)シンポジウム http://dicomo.org/	3月19日(火)		福島県磐梯熱海温泉 華の湯
8月28日(水)～ 8月30日(金)	The 14th International Workshop on Security (IWSEC 2019) https://www.iwsec.org/2019/index.html	3月15日(金)		Multi-Purpose Digital Hall, Ookayama Campus, Tokyo Institute of Technology, Tokyo, Japan
8月28日(水)～ 8月30日(金)	DAシンポジウム2019—システムとLSIの設計技術— http://www.sig-sldm.org/das/	6月7日(金)		山代温泉 ゆのくに天祥
9月3日(火)～ 9月5日(木)	FIT2019 第18回情報科学技術フォーラム https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/			岡山大学 津島キャンパス

Web ページ (<https://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 1月15日 論文誌「ますます広がる音楽情報処理」特集 論文募集
- 1月15日 人材募集情報 (Vol.60 No.2)
- 1月15日 会誌「情報処理」Web カタログ (Vol.60 No.2)
- 1月7日 新年のご挨拶
- 12月26日 IPSJ カレンダー CGI におけるクロスサイトスクリプティングの脆弱性について

● 論文誌ジャーナル掲載論文リスト

Vol.60 No.2 (Feb. 2019)

【特集：インタラクションの理解および基盤・応用技術】

- 特集「インタラクションの理解および基盤・応用技術」の編集にあたって 坂本大介
- 直列に接続した電極を用いたタッチ検出手法 真鍋宏幸 他
- Input Interface Using Wrinkles on Clothes for Wearable Computing Kentaro Ueda 他
- ProtoMold: 形状が変化する型と真空成形による 素材再利用可能な高速プロトタイピング 山岡潤一 他
- 手の甲上の離散的なインタフェースの利用を想定したポインティング特性調査 石川 優 他
- 快適なオフィスワーク支援を目指した空気渦輪の類触覚ディスプレイによる触覚刺激の影響評価 佐藤優花 他
- Scoopirit: 水面反射を用いた空中像とのインタラクション* 松浦 悠 他
- 年齢層別のタッチ・タンジブル・ジェスチャ UI を用いたパブリックディスプレイの利用特性～ミュージアムでの大規模フィールドスタディ～* 市野順子 他
- 複数ロボットとの位置関係がユーザの対話負荷に与える影響 松元崇裕 他
- Fix and Slide: 文字列全体の移動によるキャレットのポインティング手法 鈴木健司 他
- スマートウォッチの傾きと筋電情報の組み合わせによるポインティング手法 黒澤絃生 他
- ジャミング転移による硬さおよび形状の提示が可能な食感提示システムの提案 笹川真奈 他
- ToolShaker: 日用品自体を駆動する情報提示手法の提案 道具駿斗 他
- BaroTouch: A Technique for Touch Force Sensing using a Waterproof Device's Built-in Barometer Ryosuke Takada 他
- Picognizer: 電子音の認識のための JavaScript ライブラリの開発と評価 栗原一貴 他
- 遠隔窓口システム: 手書の紙書類共有によるソーシャルテレプレゼンスの強化 田中一晶 他
- 空間の移動感と物体の共有感による鏡型ビデオ会議のソーシャルテレプレゼンスの強化 田中一晶 他

【特集：ネットワークサービスと分散処理】

- 特集「ネットワークサービスと分散処理」の編集にあたって 山室雅司
- OS 処理の分散実行を効果的に利用できる一括処理依頼機能の実現と評価 佐藤将也 他
- Named Data Networking における Content Poisoning Attack 対策手法 小林諒二郎 他
- 情報指向型自動車アドホックネットワークにおける仮想ノードを用いたルーティングプロトコル 峪口雄太 他
- A Scheduling for Slotted-CSMA-based Wireless Mesh Networks to Reduce Delivery Delay Takahiro Noi 他
- Lightweight Cache Admission Algorithm for Fast NDN Software Routers Junji Takemasa 他
- 帯域状況に基づく PoI を考慮した被災地情報収集機構 小林裕樹 他
- PR-SCTP を用いた分割ダウンロード方式における所要時間とブロック到達順序を考慮した要求方式 武田和也 他

- 輻輳ウィンドウとその増加分に着目したパッシブな TCP 輻輳制御アルゴリズムの推定方法 加藤聰彦 他
- コンテンツ指向型ネットワークにおけるユーザの嗜好とキャッシュ類似度を考慮した経路集約手法 國安哲郎 他
- モバイルアドホックネットワークにおけるアンサンブル学習を用いた頑健な攻撃端末の検出 高 博奇 他
- 緊急速報をカバレッジ外へ拡散するための Proximity Services を統合した災害時同報配信システム 六平 豊 他
- スマート端末からの状況情報で自動的に小型冷蔵庫を制御する IoT システム “KADEN” の開発 宗森 純 他
- POI 情報の補完によるマイマップ検索システム 荒川 豊 他
- 事前検索を用いた多様性を考慮した高速な Twitter 時空間検索 落合桂一 他
- ランダムフォレストによる路線バス運行状態分類 米澤拓也 他
- インタフェースロボット応答制御のための歩行者分岐方向の予測 加藤由花 他
- 複数の非接触センサを用いた自転車違反運転検知システム 大井将徳 他
- 省電力化のための MPTCP による SDN を用いたスイッチ間帯域切り替え方式 西口雅人 他
- 混雑度の偏りを考慮した避難所決定手法 梅木寿人 他

【特集：組み込みシステム工学】

- 特集「組み込みシステム工学」の編集にあたって 中條拓伯
- Energy-Aware Task Allocation for Heterogeneous Multiprocessor Systems by Using Integer Linear Programming Yang Qin 他
- A Low-power Shared Cache Design with Modified PID Controller for Efficient Multicore Embedded Systems Huatao Zhao 他
- CPS のシステム開発・システム導入・デバイス開発のドメイン連携による拡張ホワイトリスト型侵入検知方式 小林信博 他
- Automotive Security on Abnormal Vehicle Behavior Using Only Fabricated Informative CAN Messages Junko Takahashi 他
- 組み込みソフトウェア技術者育成のための開発工程を重視したプログラミング教育 舘 伸幸 他

【一般論文】

- 言語モデルによるソースコードの「自然さ」を利用した自動生成ファイルの特定 土居真之 他
- 深層学習を用いた巡回セールスマン問題の解法 三木彰馬 他
- マルチメディア通信と分散処理ワークショップにおける研究トピックの変遷のテキストマイニングによる分析* 木原民雄 他
- 移動ロボットと小型コンピュータを活用したネットワーク機器監視手法* 小川康一 他
- Adversarial CAPTCHA: 畳込みニューラルネットワークに耐性のある CAPTCHA の提案と評価* 阿座上知香 他
- 可用性を考慮したプロセスの複製によるライブフォレンジック手法* 山内利宏 他
- 横断歩行者によって獲得される車両運動の視覚情報における幾何光学的関係 横谷 靖 他
- 高齢者と家族とのコミュニケーションの質の向上に向けて: 高齢者の Quality of Life 表出発話の分析 徳久良子 他

- Viterbi Approximation of Latent Words Language Models for Automatic Speech Recognition Ryo Masumura 他

* : 推薦論文 Recommended Paper
 † : テクニカルノート Technical Note



● 論文誌トランザクション掲載論文リスト (Feb. 2019)

【Transactions on System LSI Design Methodology Vol.12】

- Circuit Techniques for Device-Circuit Interaction toward Minimum Energy Operation A.K.M. Mahfuzul Islam 他
- Scalar Replacement with Circular Buffers Kenshu Seto
- Parallelism-flexible Convolution Core for Sparse Convolutional Neural Networks on FPGA Salita Sombatsiri 他
- An FPGA Implementation Method based on Distributed-register Architectures Koichi Fujiwara 他
- Design and Evaluation of Asymmetric and Symmetric 32-core Architectures on FPGA Seiya Shirakuni 他
- An OpenCL-based Software Framework for a Heterogeneous Multicore Architecture on Zynq-7000 SoC Takafumi Miyazaki 他
- Current Pass Optimized Symmetric Pass Gate Adiabatic Logic for Cryptographic Circuits Hiroki Koyasu 他



【論文誌 コンピューティングシステム Vol.12 No.2】

- 単一のレゾルベントのチェビシェフ多項式による 実対称定値一般固有値問題の解法用の簡易型フィルタ 村上 弘
- Radio Propagation Characteristics-Based Spoofing Attack Prevention on Wireless Connected Devices Mihiro Sonoyama 他



【論文誌 教育とコンピュータ Vol.5 No.1】

- ラーニングアナリティクスへの期待 (情報学と戯れる) — ICT 利活用教育研究を振り返って— 美濃導彦
- 学校教育でのプログラミング必修化と情報専門家への期待 兼宗 進
- 畿央大学におけるアクティブ・ラーニング環境の整備— COPE 方式による全学生 PC 必携化の実現と ICT 利活用能力育成科目の導入— 福森 貢 他
- スマホ依存改善支援アプリにおけるゲーミフィケーション応用と定量的評価 長谷川達人 他
- 教育成果の質と量に関する Web 調査を対象とする柔軟性の高いアンケートシステム 掛下哲郎 他



【論文誌 デジタルコンテンツ Vol.7 No.1】

- Elsa : 氷を素材とした 3D プリンターの開発 藤田大樹 他
- プロジェクション型 AR における遮蔽を考慮した注釈ビューマネジメントの設計と評価 山崎賢人 他
- 日本の伝統的住宅を用いたインタラクティブプロジェクションマッピング 水野慎士 他



各 賞 表 彰 (概要)

詳細は Web サイト (https://www.ipsj.or.jp/award/sho_index.html) をご覧ください

2018 年デジタルプラクティス論文賞の表彰

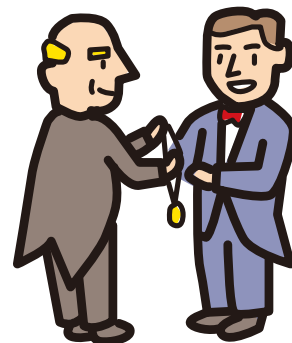
デジタルプラクティスの目的は、ICT 実務の現場での実践やそこから生み出される知見を広く社会全体で公開共有し再利用することです。この目的に最もかなう論文を 1 年に 1 編選び「デジタルプラクティス論文賞」を贈呈しております。

本年の受賞者は、2018 年に発行されたデジタルプラクティス Vol.9, No.1 ~ No.4 の全 45 編 (招待, 一般投稿, 推薦) の中から、表彰規程およびデジタルプラクティス論文賞選定手続きに基づき、吉野松樹編集委員長を委員長とする選定委員会において厳正な審査を行い、理事会承認 (2018 年 11 月 22 日付, 定款上の理事会決議の省略手続きによる) を得て、決定いたしました。

受賞者には、本会表彰規程により、2 月 5 日に開催されたソフトウェアアジア 2019 において、表彰状および賞金が授与されました。

○ IMI 共通語彙基盤

加藤文彦君, 武田英明君, 田代秀一君, 平本健二君, 松澤有三君



情報処理学会の会員になりませんか!

www.ipsj.or.jp

新規会員
募集中

一般社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として健全な情報化社会の実現に向けて、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

■活動の概要

- 出版活動 (学会誌「情報処理」、論文誌、デジタルプラクティス、単行本の発行)、電子図書館への掲載
- 各種行事の開催 (研究発表会、全国大会、FIT (情報科学技術フォーラム)、シンポジウム、連続セミナー、ソフトウェアジャパン他)
- 教育活動 (大学の標準カリキュラム策定、JABEE 認定審査、認定情報技術者 (CITP) 認証、教員免許更新講習)
- 国際交流 (IFIP への加盟、海外学協会との提携)
- 標準化活動
- その他の活動 (各種提言・コンピュータ博物館の運営・情報処理技術遺産の認定・表彰・支部活動他)

■会員になるには

入会金 (正会員のみ) と会費をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。理事会で承認後会員証 (賛助会員除く) をお送りします。情報処理学会の会員は、個人会員と賛助会員から構成されています。

個人会員

- 名誉会員：当学会の活動において特別な功績があり、総会で推薦された個人
- 正会員：当学会の目的に賛同して入会した個人で、当学会の中心的会員
- 学生会員：学校に在学中の個人
- ジュニア会員：小学生～大学学部3年生以下の学生 (会費無料)

賛助会員

当学会の活動をサポートする団体または個人

■ご入会いただくと、こんな良いことがあります。

1 最新技術を紹介する会誌「情報処理」が毎月お手元に届きます (ジュニア会員は電子版のみ)。

特集：私のターニングポイント／情報社会／サービスエクセレンス／匿名加工とプライバシー保護／大学発ICTベンチャー／吊いと技術革新／暮らしの中で活躍するAIとロボット／ラーニングアナリティクス／安全なデータ活用を実現する秘密計算技術／国際標準になった認定情報技術者 (CITP) / ディープラーニング活用事例と使いこなしの勤所／牛とIT/ICT／デジタルエコノミー時代のサイバーセキュリティ／機械学習工学／社会を変えるIoT 他

2 実務の現場でITを実践する皆様に向けた論文誌「デジタルプラクティス」を年4回発行しています (電子版のみ)。

特集：価値を創造するコンタクトセンタ (4月刊行) / 情報セキュリティ対策のプラクティス (7月刊行) / クラウドソーシング／ヒューマンコンピューテーション (10月刊行) / 情報分野における標準の戦略と実践 (1月刊行)

3 電子図書館で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。

4 「連続セミナー」に会員価格 (7,000 円お得) で参加できます。

時代に即しかつ技術の先進性に富んだ内容をテーマに、その分野の第一線で活躍している講師を招いて年数回にわたり開催しています。2018 年度は「超スマート社会を切り拓く技術トレンドを探る」をテーマに、6回開催しました。

5 ホットピックスに対応する「シンポジウム・セミナー」(5,000 円以上お得) や「研究会」に会員価格で参加できます。

3D プリンタ、Bit Coin、Fintech、GPS、IoT、ITS、アクセシビリティ、暗号、インターネット、ウェアラブル、組込みシステム、クラウド、ゲーム、自動運転、障害者支援、シンギュラリティ、人工知能、スマート社会、セキュリティ、ソーシャルネットワーク、ダイバーシティ、データマイニング、ドローン、バイオ、ビッグデータ、ユビキタス、量子コンピュータ、ロボット、ディープラーニング

6 出版図書が会員割引で購入できます。

IT Text シリーズ、英文図書 Advanced Information Technology シリーズ、日本のコンピュータ史等

他にも会員向けサービスがたくさんあります。詳細は学会 Web サイトをご覧ください。



2018 年度

ホット
トピックス

お問い合わせは、
一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

◆◆「情報処理学会」 入会のご案内 ◆◆

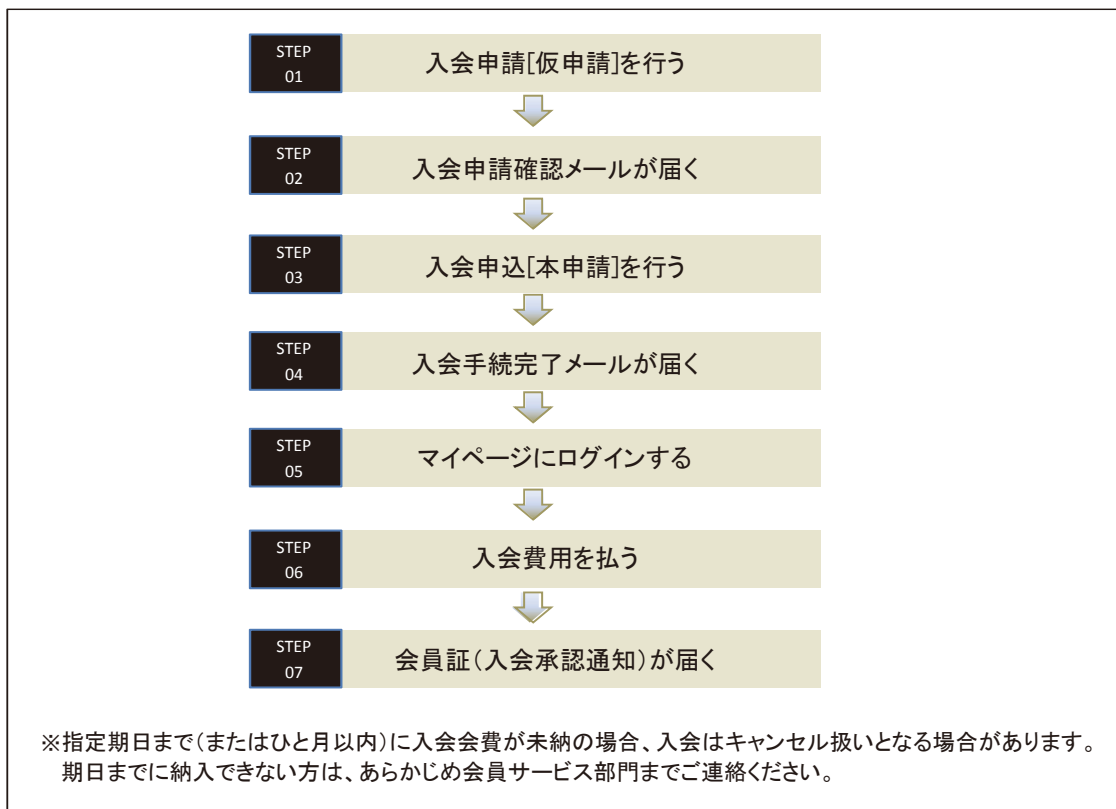
■ 入会方法

個人会員はこちら ⇒ https://www.ipsj.or.jp/nyukai_kojin.html

賛助会員はこちら ⇒ https://www.ipsj.or.jp/nyukai_sanjo.html

■ 個人会員の入会手順

いただいた個人情報は、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
<https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>



■ 2019年度会費等の金額

	入会金*1 (消費税対象外)	年度会費*2 (消費税対象外)
正会員	2,000円	10,800円
学生会員	---	4,800円
賛助会員	---	1口 50,000円

【2019年度の期間:2019年4月1日～2020年3月31日】

*1:正会員の入会金免除の方法は、入会申込[本申請]の画面に記載しています。

*2:表示の会費は2019年度額です。入会月によらず、年度額を請求します。会費の翌年度への繰越はありません。

入会後にオプションで次のものがマイページから申込できます。掲載論文は電子図書館での閲覧となります。

・論文誌ジャーナル ・総合デジタルライブラリ ・研究会登録

■ 入会申込先

一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp
<https://www.ipsj.or.jp/>

振込口座 名義人 一般社団法人 情報処理学会
郵便振替 00150-4-83484
みずほ銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945
三菱東京UFJ銀行 本店 (普) 7636858

ご意見をお寄せください！

【3月10日頃までにお出ください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
https://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
https://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(e) 学生 (f) 学生（ジュニア会員）(g) その他…………… 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教職員（小・中・高校・高専・大学・大学院など）
(h) 学生 (i) 学生（ジュニア会員）(j) その他…………… 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上…………… 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性…………… 7- []
- (8-1) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ…………… 8-1- []
- (8-2) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない…………… 8-2- []
- (9) どちらの媒体で記事をお読みになりましたか？
(a) 冊子版 (b) 情報学広場（電子図書館）(c) App Store (d) fujisan (e) その他…………… 9- []
- (10) 今月号（2019年3月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]
- 巻頭コラム：ストレスチェック制度開始後の企業のメンタルヘルス対策に必要なこと…………… 10-1- []
- 特集：水産業と情報処理
1. 水産業が抱える課題と ICT への期待…………… 10-2- []
 2. 水産 ICT から水産クラウドへ…………… 10-3- []
 3. 漁業現場におけるパートナーとの共創…………… 10-4- []
 4. インドネシアの漁業者との共創…………… 10-5- []
 5. スマート水産データベースへの期待…………… 10-6- []
 6. 定置網漁業における働き方改革に向けた魚種判別手法の開発…………… 10-7- []
 7. 笠戸島における赤潮監視の取り組み…………… 10-8- []
 8. 水産業支援のための画像処理技術とその利用…………… 10-9- []
 9. 海岸工学における漁業ビッグデータの活用…………… 10-10- []
- IT 好き放題：未来の IT 技術者，研究者へ…………… 10-11- []
- べた語義：「知識」「知恵」「コンピテンシー」…………… 10-12- []
- べた語義：プログラミング入門科目の指針と実践例（前編）…………… 10-13- []
- べた語義：小中学校における〈普通教育としてのプログラミング教育〉の展開と課題…………… 10-14- []
- 連載漫画：IT 日和…………… 10-15- []
- 学会活動報告：IFIP—情報処理国際連合—近況報告…………… 10-16- []
- 報告：情報処理学会ジュニア会員インタビュー…………… 10-17- []
- ビブリオ・トーク：BEATLESS 上 BEATLESS 下…………… 10-18- []
- 情報の授業をしよう！：Scratch を活用した段階的なプログラミング指導例…………… 10-19- []
- 連載：集まれ！ジュニア会員！…………… 10-20- []
- 5分で分かる!? 有名論文ナメ読み：Valins, S.: Cognitive Effects of False Heart-rate Feedback…………… 10-21- []
- 連載：先生，質問です！…………… 10-22- []
- 会議レポート：ACM SIGIR 2018 参加報告…………… 10-23- []
- リレーコラム：VR3.0 → 4.0 の間に咲いた VTuber という新人類の研究…………… 10-24- []

〔11〕 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔11-1〕 良かった記事 11-1- []
 〔11-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
 〔11-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 11-3- []
 a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
 e) その他（具体的に下記にご記入ください）

〔12〕 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕 良くなかった記事 12-1- []
 〔12-2〕 この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
 〔12-3〕 選んだ理由（下記から、いくつでも選択可）..... 12-3- []
 a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
 f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に下記にご記入ください）

〔13〕 今の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕 水産業と情報処理：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。

〔15〕 会誌に対するご意見や感想、著者への質問、巻頭コラムに登場してほしい人物、今後取り上げてほしいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <https://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel(ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会誌配布、会員特典、会費等口座振替、海外からの送金、賛助会員、電子図書館
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、出版、コンピュータ博物館（情報処理技術遺産）
著作権	copyright@ipsj.or.jp		転載許可、著作権
デジタルプラクティス	editdp@ipsj.or.jp		デジタルプラクティス（DP）の編集・査読、DP レポート
図 書	tosho@ipsj.or.jp	03-3518-8374	出版物購入
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション）の編集・査読
調査研究／国際／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、研究グループ、シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会、情報処理教育委員会、アクレディテーション対応
■ 事業部門			
事 業	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、プログラミングコンテスト、プログラミング・シンポジウム、協賛・後援
技術応用	event@ipsj.or.jp		連続セミナー、短期セミナー、IT フォーラム、ソフトウェアジャパン、その他講習会
認定情報技術者制度	ipsj.citp@ipsj.or.jp		認定情報技術者制度
■ 管理部門			
総務／庶務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	総会・理事会、支部、選挙、総務系選奨、関連団体、アドバイザーボード
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、セキュリティ、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
■ 情報規格調査会			
規格部門	問合せフォーム https://www.itscj.ipsj.or.jp/contact/index.html		ISO/IEC JTC 1での情報技術の標準化業務 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 https://www.itscj.ipsj.or.jp/

私の情報処理学会へのデビューは、第10回ユビキタスコンピューティングシステム研究会であった。民間企業から大学に転職したばかりで、30代半ばとはいえ、研究者としては1年生であった。開催校であるという理由で同僚に勧められ、発表を申し込んだように覚えている。タイトルは「ホタテ養殖支援のための小型海洋観測ブイの開発」であった。当日、本人はいたって真面目に発表したつもりであるが、時折会場は大きな笑いに包まれた。私の学位は「博士(水産科学)」で、完全にアウェーな会場だと思って臨んだ発表であったが、その笑いが会場をホームに変えてくれた。情報処理学会に受け入れてもらえたと感じた瞬間であった。しかしながら、まさか13年後に「水産業と情報処理」という特集を企画する機会をいただけるとは、夢にも思っていなかった。

ところで、みなさんは最近ホッケを食べたでしょうか。私は水産学部出身であるから、学生時代にはよく研究室でいただきもののホッケを焼いて食べたものである。そのときのホッケに比べると、最近のホッケの開きはアジの開きかと思うくらい小さい。実際にホッケの資源量は減り、小型化が進んでいる。また、最

近クロマグロを食べたでしょうか。日本は世界一のクロマグロ消費国であるが、近年は全国的にクロマグロの流通量が激減している。ホッケもクロマグロも国際的な水産資源であり、その資源管理は時に国際的な議論となる。しかしながら、過度な漁獲規制は地域産業の衰退につながりかねない。そこで、資源状況を正確に評価し、適切な漁獲枠を勝ちとるための発言力を強化するという意味においても、スマート水産データベースの実現を急ぐ必要がある。

本特集を企画するにあたり、水産業の事例紹介ということだけでなく、社会実装の事例紹介となることも心掛けたつもりである。シーズの社会実装において、顕在的ニーズを知る水産試験場の役割や潜在的ニーズを汲むデザイナーの役割などについても、興味をお持ちいただけたとしたら幸甚である。仕事の疲れを癒し、懇親の場を提供してくれる居酒屋。そのメニューからホッケやクロマグロが消えてしまわぬよう、水産業と情報処理の取り組みを発展させていきたいと考えている。

(和田雅昭/本特集ゲストエディタ)

次号(4月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」医療と情報

第一部：ヘルスケア・インフォマティクスの先端技術

生体情報の応用—バイオメディカル・ビッグデータ分析/医用画像診断の未来/介護・福祉に関する課題と情報工学の可能性/医療機器認証の最先端

第二部：身体情報を医療と結びつける情報学

アクションリサーチによる健康寿命延伸のためのコミュニケーションデザイン—大田区の事例をもとに—/オーラルフレイル予防のための口腔トレーニング/スマートフォンアプリケーションによるリハビリテーション支援/身体性を考慮した医療情報インタフェース設計の試み/デジタルヒューマンと医療

教育コーナー：べた語義

連載：IT日和/5分で分かる!?有名論文ナメ読み/集まれ!ジュニア会員!!/情報の授業をしよう!/先生、質問です!/ビブリオ・トーク

コラム：巻頭コラム/シニアコラム：IT好き放題/リレーコラム

会議レポート：UIST 参加報告

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、著作権者協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

..... 広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	1色
表2	330,000円 (税込356,400円)	—
表3	275,000円 (税込297,000円)	—
表4	385,000円 (税込415,800円)	—
表2対向	300,000円 (税込324,000円)	—
表3対向	265,000円 (税込286,200円)	155,000円 (税込167,400円)
前付1頁	250,000円 (税込270,000円)	135,000円 (税込145,800円)
前付1/2頁	—	80,000円 (税込86,400円)
前付最終	—	148,000円 (税込159,840円)
目次前	—	148,000円 (税込159,840円)
差込 (A4変形判 70.5kg未満 1枚)	275,000円 (税込297,000円)	
差込 (A4変形判 70.5kg～86.5kg 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	
同封 (A4変形判 1枚)	350,000円 (税込378,000円)	

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 20,000部
 体裁 A4変形判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地250mm×左右180mm
 1/2頁 天地120mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地280mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

..... 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 60巻3号 掲載広告 (五十音順)

- インタフェース 表2対向 富士通..... 表2
 講談社..... 前付最終上
 すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 -) _____

TEL () - FAX () -

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は

広告総代理店 **アドコム・メディア(株)**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp

賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail: mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

Orchestrating a brighter world
NEC

日本電気 (株)

**MITSUBISHI
ELECTRIC**
Changes for the Better

三菱電機 (株)

CyberAgent.

(株) サイバーエージェント

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

RECRUIT

(株) リクルート

Google

グーグル合同会社

docomo

(株) NTT ドコモ

TOSHIBA

(株) 東芝

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)

TTC
Telecommunication
Technology
Committee

(一社) 情報通信技術委員会

NTT DATA

(株) NTT データ

GREE

GREE (株)

Rakuten

楽天 (株)

IA japan

(一財) インターネット協会

ISA

情報サービス産業協会

**TREND
MICRO**

トレンドマイクロ (株)

NTTコムウェア

NTT コムウェア (株)

NTTテクノクロス

NTT テクノクロス (株)

uejima

(株) うえじま企画

OKI

沖電気工業 (株)

SANBI

三美印刷 (株)

SEPTENI

(株) セプテーニ

SONY

ソニー (株)

**team
Lab**

チームラボ (株)

Panasonic

パナソニック (株)

FORUM 8
フォーラムエイト

(株) フォーラムエイト

人と音楽の新しい関係をデザインする。
レコチョク

(株) レコチョク